

様式第3号(第2面)の派遣業務内容に関する様式第3号-2(第1面)のキャリア形成支援制度に関する計画書を策定するにあたり添付して下さい。

少なくとも、第三者が読み取れ、キャリアアップに資すると判断できる程度の内容を記載ください。

様式第3号-2「キャリアアップに資する教育訓練」の計画を策定するにあたり、この(整理用シート)を活用してください。  
1、整理用シートの各項目を、この記入見本を参考に整理・記入してください。

この(整理用シート)の説明に限って、様式第3号-2(第1面)の「4キャリアアップに資する教育訓練」の部分を「教育計画表」ということにします。

様式第3号(第2面)の5に記載の派遣業務のうち1つを記載

上記派遣業務の詳細を記載

## キャリアアップに資する教育訓練 (整理用シート)

派遣業務内容	機械技術者
派遣業務の具体的内容	大手自動車メーカーの協力会社にて、プラスチック製品の成形・加工・組立機械の保全・修理、設備改善・改造業務。製造現場で課題を分析し、再発防止を図る。保全カルテや業務報告書等の作成・システム入力も行う。

	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
(1)必要とされる共通のキャリアパス(求める人材要件)	派遣労働であることの意味と目的について理解し、指示された業務について、指導者の補助が必要ではあるが基本作業ができるまでになる。	業務の基本を理解し、与えられた業務を一人で実行し、問題・課題の抽出・整理ができるまでになる。指導者の補助の下、改善業務を行う。	指導者から独り立ちし、問題点の抽出・整理及び改善業務を行う。指揮命令者との適時的確な報連相により、生産性を上げる。	与えられた業務を一人で実行しながら、後輩への指導ができるまでになる。 中長期的に管理的立場の業務を行える人材に育成する。
(2)(1)に必要なスキル、資質等	派遣業務の基礎知識・基本作業の理解	基本作業の習得、課題解決能力の理解	課題解決能力の向上、機械保全技能士3級レベル	マネジメント能力の習得、機械保全技能士2級レベル以上
【枠内記載案内】 上段左の数字：教育計画表の丸囲み数字と同一 上段右：丸囲み数字に対応する具体的な教育訓練(教育計画表どおり) 中段：教育訓練の内容を簡潔に説明 下段：教育訓練時間	① 工場ルール、製品・品質知識 派遣業務遂行のために最初におおくべき基礎的な事項を学ぶ 5時間			
	② 使用機器、治工具取扱い 使用する機械器具、治工具一式の原理等の基本を座学で学ぶ 3時間			
	③ マシントラブルシューティング オペレーターの業務から、トラブル事例を抽出、問題・課題の整理を学ぶ 8時間	③ マシントラブルシューティング オペレーターの業務から、トラブルの発見、設備改善の情報取得と検討 8時間	③ マシントラブルシューティング 2年目と同様 現場改善意識の向上 8時間	③ マシントラブルシューティング 2年目と同様 現場改善意識の向上 8時間
	④ パソコン能力研修 業務で使用するパソコンの操作の基本を習得(情報入力から加工方法等) 4時間	④ パソコン能力研修 専用システムの使用方法の理解と実践 4時間	④ パソコン能力研修 1年目及び2年目のレビュー 4時間	
		⑤ 資格取得支援 機械保全技能士3級の取得にむけた支援(過去問及び実演) 8時間	⑤ 資格取得支援 機械保全技能士2級の取得にむけた支援(過去問及び実演) 8時間	⑤ 資格取得支援 資格取得支援 機械保全技能士2級及び1級の取得にむけた支援(過去問及び実演)以降毎年繰り返し 8時間
			⑥ マネジメント研修 上位の立場を想定した事前研修。社内教育資料を使用。 6時間	⑥ マネジメント研修 担当責任者との面談、部下とのロールプレイングによる育成を毎年計画実施 6時間
(3)教育訓練内容(上段：様式3号-2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間)				
(4)期待される教育訓練の効果/到達すべき知識/技量レベル/キャリアアップにつながる理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>①で派遣で働くことの意味、②～④で実務の基本知識の習得を期待</li> <li>派遣就業の基本的知識に到達</li> <li>補助的作業レベル</li> <li>学んだ知識が2年目以降の派遣就業能力向上の基礎となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な業務にチャレンジする意欲を期待</li> <li>実務経験から具体的な保全業務の基本知識を習得</li> <li>実務作業レベル 与えられた業務を一人で実行。</li> <li>③～⑤で業務に必要な知識・経験が得られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら行った成果として、生産性に寄与することを期待</li> <li>機械保全技能士3級程度の知識に到達</li> <li>高度作業レベル 能力を十分発揮し、与えられた業務を一人で実行。</li> <li>派遣就業の経験を生かし、機械保全技能士の資格取得が可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個から全体への意識の転換と更なる業務の習熟度が高まることを期待</li> <li>機械保全技能士2級程度以上の知識に到達</li> <li>責任者レベル 或いは 熟練作業レベル</li> <li>4年目以降継続教育で中長期のキャリア形成が図られる。</li> </ul>
	派遣業務の具体的内容と(3)教育訓練内容とが、どのような関連があり、派遣労働者のキャリアアップにどのような効果があるか等を記載。			

必要なスキル、資格等を年ごとに記載。

この見本では、教育計画表の実施時間の時間記載と同じ配置としたが、上から始めて記載してもよい

(整理用シート) 【機械技術者】同様、様式第3号-2(第1面)のキャリア形成支援制度に関する計画書を策定するにあたり添付して下さい。

様式第3号(第2面)の5に記載の派遣業務のうち2つ目を記載

上記派遣業務の詳細を記載

# キャリアアップに資する教育訓練 (整理用シート)

派遣業務内容 **金属材料検査従事者**  
 派遣業務の具体的内容 大手電子部品製造工場にて、専用機器を使用して或いは目視で半製品や完成品の検査を行う。付帯業務として製品の運搬や報告書の作成等を行う。

	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
(1)必要とされる共通のキャリアパス(求める人材要件)	派遣労働であることの意味と目的について理解し、指示された業務について、基本作業ができるようになる。			
	派遣労働者が、自己研鑽によりキャリアアップしていくために、年ごとのキャリアパス(キャリアアップの道筋を描いた計画)を記載。			
(2)(1)に必要なスキル、資質等	派遣業務の基礎知識・基本作業の理解と実践	業務の正確性の追求、検査員認定	業務効率の改善、新人教育	ステージ選択、資格取得
【枠内記載案内】 上段左の数字：教育計画表の丸囲み数字と同一 上段右：丸囲み数字に対応する具体的な教育訓練(教育計画表とおり) 中段：教育訓練の内容を簡潔に説明 下段：教育訓練時間	① 工場ルール、製品・品質知識 派遣業務遂行のために最初に知っておくべき基礎的な事項を学ぶ 5時間			
	② 計測器取扱い、付帯業務 使用する計測機器の操作方法、付帯業務の基本を座学で学ぶ 3時間			
	③ 検査員教育 作業経験を積んだ後、指導者との検査水準合わせをテスト形式で行う 8時間	③ 検査員教育 派遣先実施の検査員教育合格による独り立ち 4時間	③ 検査員教育 2年目で取得した認定検査員の継続試験 4時間	③ 検査員教育 3年目で継続した認定検査員の継続試験 4時間
	④ パソコン能力研修 業務で使用するパソコン及び専用システムの操作の基本を習得 4時間	④ パソコン能力研修 専用システムの使用方法の復習と補完教育 2時間	④ パソコン能力研修 2年目と同様復習と補完教育 2時間	④ パソコン能力研修 2年目と同様復習と補完教育 2時間
		⑤ 資格取得支援 本人のキャリアパスに応じた資格項目の選定と社内教育(パソコン能力等) 8時間	⑤ 資格取得支援 本人のキャリアパスに応じた選定資格の社内教育(QC検定等) 4時間	⑤ 資格取得支援 本人のステージに応じた資格取得支援を準備 4時間
			⑥ リーダー研修 新人や後輩への指導能力向上の事前研修。社内教育資料を使用 4時間	⑥ リーダー研修 長期就業者向けに指導力を向上させる研修。社内研修資料を使用 4時間
(3)教育訓練内容(上段：様式3号-2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間)				
(4)期待される教育訓練の効果/到達すべき知識/技量レベル/キャリアアップにつながる理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>①で派遣で働くことの意味、②～③で実務の基本知識の習得を期待</li> <li>社会人及び派遣就業の基本的知識に到達</li> <li>基本作業レベル</li> <li>この1年間で、与えられた派遣業務の業務習得及び能力向上が図れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③、④で正確な業務の知識・経験の習得を期待</li> <li>検査業務に必要な知識を高精度に習得</li> <li>実務作業レベルと与えられた業務を一人で正確に行える。</li> <li>検査員という専門能力習得がキャリアアップにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら行った成果として、生産性に寄与することを期待</li> <li>前後工程との関係を理解する。</li> <li>高度作業レベル指導ができ、実力を十分に発揮し正しい業務が行える。</li> <li>新たな派遣業務に備えた事前知識習得がキャリアアップにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個から全体への意識の転換と更なる業務の習熟度が高まることを期待</li> <li>人を指導する知識或いは複数の業務知識</li> <li>リーダーレベル(小さな組織の責任者)</li> <li>無期雇用への転換を視野に入れた教育がキャリアアップにつながる。</li> </ul>
	派遣業務の具体的内容と(3)教育訓練内容とが、どのような関連があり、派遣労働者のキャリアアップにどのような効果があるか等を記載。			

必要なスキル、資格等を年ごとに記載。

この見本では、教育計画表の実施時間の時間記載と同じ配置としたが、上から始めて記載してもよい